



八十島 智春

Chiharu Yasojima

INTERVIEW

12

パワフルで魅力的な人に会い
話を聞くといい刺激になりますよ

新卒で入社後、結婚、産休と育児休暇を2度取得しました。当時は総務課勤務だったので調べたところ、育児休暇の取得は東京のJAF本部ではいたようですが、札幌ではわたしが初めての取得。先輩に働く母がいたので、自分にも子育てしながら働けるかなとイメージしやすかったです。身近にロールモデルになるような人がいて、とても励みになると同時に助けてもらいました。昨年までは保育所のお迎えがあったので、心苦しく思いながらも逃げるように退社。ふたりの子どもが小学生になり、だいぶ手がかからなくなりました。いま思うと周囲の理解と協力があつたので、これまで会社員として働き続けることができたと感謝しています。その一方、世の中にはいまだ根強く「女だから」という感覚があります。フルタイムで働きながらの育児は大変なことが多いので、柔軟な働き方を選べるのが当たり前の時代になることを願っています。



タイムスケジュール



起床後は、身じたくや食事の準備のみならず、掃除、洗濯、片付けなどする朝型派。さらに、読書もしているというからスゴイ！



PROFILE

1975年、旭川生まれ。大学進学により札幌市へ。現在、勤続16年目。11才、7才の男の子を育てるワーキングマザー。講演会や勉強会などにも積極的に参加し、それを通して知り合った働く女性仲間も多い

現在の仕事(活動)について

JAF(一般社団法人日本自動車連盟)札幌支部にて、交通環境に関わる業務と広報業務をしています。

プライベートの過ごし方

家族でおでかけ、ショッピング、温泉、美味しいものを食べに行くこと。読書、講演会、勉強会等への参加。

1



JAF 日本自動車連盟

2



3



- ①札幌モーターショー2014にて広報活動を展開
- ②次男が誕生し、仕事に復帰した頃
- ③昨年家族旅行の様子

企業の広報活動を通じて社会に貢献！

「やりがい」だと感じられること

JAFの取り組みがわかるニュースリリースを作成し、各メディアに配布。それによって取材が入り、JAFの業務が広く周知されるのはうれしいですね。また、イベント等で一般のお客さまと接することも楽しいです。

忘れられないエピソード

JAFは男性イメージの強い会社なので、女性だけでチームをつくり、事務所兼ショールームに入りやすい（お客さまスペース）を考えてレイアウト変更などしたこと。本当に上司や同僚にたくさん助けられていて日々感謝しています。

仕事と家事の両立で工夫していること

朝の時間を大切に過ごしています。平日の早起きは得意になりました。家事などは夫や子どもたちにお願ひできるものは頼むようにしています。ひとりで何でも抱え込まず、同じようなライフスタイルの女性との交流も大切にしています。

女性が活動する上で不足していること

保育所の定員は増えてきたようですが、病気になったときの子どもの預け先に困るので、保育所に看護師さんが常駐して病気になっても預けられると働く母は助かります。また、働く女性への男性の理解というのも不足しているように思います。

札幌を拠点に活動することについて

企業で働くワーキングマザーや自身で起業してる方など、札幌にはバワフルな女性が多いので、業種や会社を問わず繋がっていただける出会いの場がたくさんあるので札幌はいいまちですね。

社会で女性が活躍することについて

労働力不足が叫ばれる中、どんな女性が活躍する社会になることを望みます。今の子どもたちが大人になったとき、「女性だから〇〇～」と言われることがなくなっている世の中になっているといいなと思います。

今後の目標・展望など

自分の基盤である家族を大切にしたいうえで、楽しく仕事を続けながら、学び続けて、「ライスワーク」以外の「ライフワーク」を見つけ充実した日々を送りたいです。札幌市が「子育てしやすいまちで、働く女性が多い」というまちになると嬉しいです。

活動を望む女性へのメッセージ

札幌には個性と魅力あふれる働く女性が色々な場所で活躍しているので、一歩踏み出して、さまざまな人と知り合う機会をつくってください。年齢・職業に関係なくキラキラ輝いてる人に出会って話を聞いてみると、いい刺激があり、得るものがたくさんありますよ。